



2022年7月11日

各位

上場会社名 株式会社アイケイ
代表者 代表取締役会長兼CEO 飯田 裕
(コード番号 2722 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先責任者 常務取締役管理統括 高橋伸宜
(TEL 052-856-3101)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月期通期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2022年1月11日に公表いたしました業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

ダイレクトマーケティング事業のTVショッピングにおいて、前期の主力商品でありました「スピードヒート温熱ベスト」が、当期においては計画に対し大きく下振れいたしましたことに加え、その他の前期ヒット商品につきましても売上効率がダウントレンドとなり売上が減少したため、TVショッピングによる売上は、前期に比較して3,191百万円ほど減収する見込みであります。このため、TVショッピングを主販路とする連結子会社の株式会社プライムダイレクトが営業損失を計上する見込みであることから、TVショッピングの映像について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失152百万円を計上することとし、当該減損を含めて新たに171百万円の特別損失を計上する予定です。

2. 業績予想の修正について

①2022年5月期通期連結業績予想数値の修正(2021年6月1日～2022年5月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	16,500	△134	△120	△528	△67.27
今回修正(B)	16,335	△360	△323	△905	△115.95
増減額(B-A)	△165	△226	△203	△377	
増減率(%)	△1.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年5月期)	20,754	705	730	321	42.60

(修正の理由)

売上高は前回予想を若干下回る16,335百万円になる見込みであります。

営業利益は、売上総利益率を46.9%で計画していたところ、着地見込みは45.3%と1.6ポイントダウンする見込みです。これは、ダイレクトマーケティング事業の「スピードヒート温熱ベスト」の在庫に対する評価減108百万円を計上することと、原材料等の値上がりによる原価率のアップによります。これらの影響により、前回予想より226百万円下振れし、△360百万円になる見込みで

す。

経常利益についても営業利益同様に 203 百万円下振れとなり、△323 百万円になる見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の影響に加え、上段の特別損失の計上を行う見込みでありますことから△905 百万円になる見込みであります。

(注) 上記業績予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上